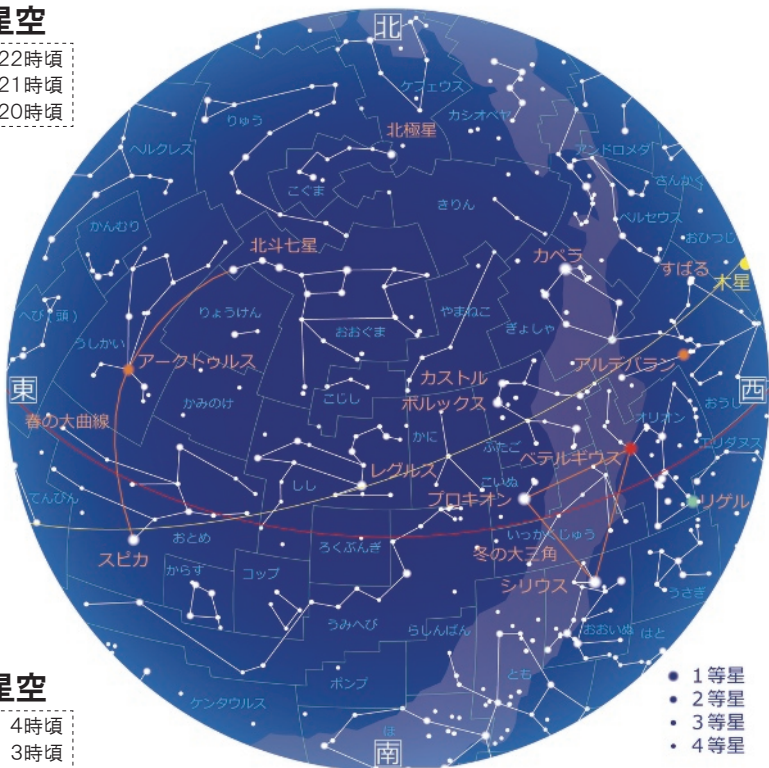


星空ガイド 3月16日～4月15日

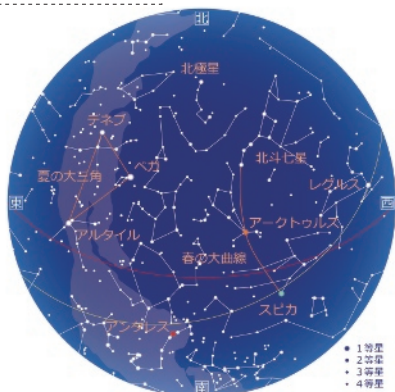
よいの星空

3月16日22時頃
4月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

3月16日 4時頃
4月1日 3時頃
15日 2時頃



【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
3	16	土	6:07	18:07	9:42	--:--	5.7
	21	木	6:00	18:11	14:28	4:08	10.7
	26	火	5:53	18:15	19:11	6:14	15.7
4	1	月	5:45	18:19	0:18	9:40	21.7
	6	土	5:38	18:23	4:11	15:26	26.7
	11	木	5:32	18:27	6:51	21:32	2.4
	15	月	5:26	18:30	10:17	0:44	6.4

※惑星は2024年4月1日の位置です。

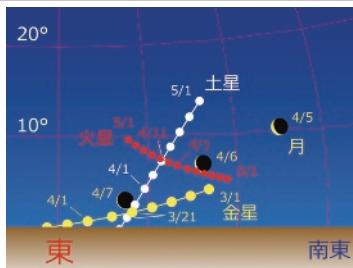
明け空に惑星が並ぶ

明け方の東の空に、金星・火星・土星が見えています。これらの惑星は、毎日少しずつ位置を変えていきます。

明けの明星として見えていた金星は、日々高度が低くなっています。3月になると日の出の少し前、ごく低いところにしか見ることはできませんが、3月22日には、この金星のそばに土星がやってきます。

土星は少しずつ明け方の空で高度を上げていき、4月11日には、火星と土星が角度にして26分と、月の見かけの大きさよりも小さい距離まで接近します。

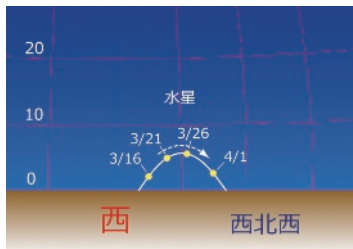
また、4月6～7日にかけては、月がこれらの惑星のそばを通過していく様子も見ることができます。



明け方の星空(日の出30分前:大阪)

水星が東方最大離角

水星は太陽に最も近いところを回っている惑星のため、太陽からあまり離れた場所には見えません。しかし3月25日、水星が東方最大離角となり、この日の前後は日の入り後に水星が観察しやすい時期となります。それでも水星の地平線からの高さは、日の入り1時間後で10度以下とかなり低く、辺りもまだ薄明るいため、見つけるのは大変です。西の空、地平線が開けたところで、探してみてください。



水星の位置(日の入り1時間後:大阪)

江越 航(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
3	17	日	●上弦(13時)/彼岸の入
	19	火	月とポルックスがならぶ
	20	水	春分の日/春分 月とプレセペ星団がならぶ
	22	金	明空に金星と土星が接近 月とレグルスがならぶ
	24	日	月が最遠(406,294km)
	25	月	○満月(16時)/半影月食(月の出～18:32)/水星が東方最大離角
	26	火	月とスピカがならぶ
31	日	イースター	

月	日	曜	主な天文現象など
4	2	火	●下弦(21時)
	4	木	清明
	6	土	明空に月と火星と土星がならぶ
	8	月	月が最近(358,850km) 金星食(日本では見えない)
	9	火	●新月(3時)/アメリカで皆既日食 (日本では見えない)
	11	木	明空に火星と土星が接近 月と木星がならぶ
	12	金	水星が内合
	15	月	月とポルックス、カストルがならぶ